

令和7年度(2025年度)

学校要覧



HKS

Hokkaido Hakodate Koutou Shien



ピーヨ (HAKO CAFÉ CLOVER 公式キャラクター)
製作: 3期生 (卒業生) 撮影: 4期生 (卒業生)

校訓

「探究」

「協働」

「健全」



北海道函館高等支援学校

北海道函館高等支援学校 校歌

作詞 立田俊治
作曲 石若拓哉

一 空青く高く 横津の山脈は 鮮やかに
五稜の北の 学び舎に 広く学びて同いただす
学び働き生きること 真理の探究 道歩む

ああ我ら若人 深き人

二 海青く広く 巴の港 穏やかに

五稜の北の 学び舎に 力合わせて志す
互いのよさを認め合い 協働の心 一つなり

ああ我ら若人 広き人

三 風青く薫り 臥牛の峰に 木々そよぶ

五稜の北の 学び舎に 汗を流して道悟る
心と体磨き合い 健全たらん 想い燃え

ああ我ら若人 清き人

北海道函館高等支援学校 校歌

作詞 立田俊治
作曲 石若拓哉

2

mf

(3番は、※印の音から歌い始める)

そら あ おく
うみ あ おく
※ かぜ あ おく

た から く よ つ の や ま 一 は あ だ や か に こ
ひ ち お り と こ の の み な 一 お き や か よ に

り う の さ た の ま な 一 び や 一 に ひろくまなびて
ちからあわせ
あせをながして

と い た だ す ま な び は た さ い き る こ と し り の た ん き
こ ち さ と た が い の よ か ら み と め あ い ぎょう どう の た ん ー
み こちとる こ り と か ら み が き あ い けん ぜ ん た ん ー

う ろ ん み ち 一 あ ゆ 一 む り あ あ わ れ ら わ こ う ど
お お 一 つい な 一 え

1.2. 3. 2

ふ ひ か る さ ひ と と
ひ き よ き ひ と

沿革

平成30年度

10月1日 (仮称)事務室を北海道函館稜北高等学校内に設置。10月19日 北海道立学校条例の一部を改正する条例(平成30年北海道条例第55号)により、平成31年4月1日付北海道函館高等支援学校設置を決定。

平成31年度 (令和元年度)

4月16日 第1回入学式を挙行し、普通科5名、生産技術科8名、食品デザイン科8名、福祉デザイン科8名、計29名が入学。

6月22日 開校式挙行。

令和2年度

4月10日 第2回入学式を挙行し、普通科6名、生産技術科8名、食品デザイン科8名、福祉デザイン科4名、計26名が入学。

令和3年度

4月15日 第3回入学式を挙行し、普通科7名、生産技術科8名、食品デザイン科8名、福祉デザイン科2名、計25名が入学。

3月5日 第1回卒業証書授与式を挙行し、普通科5名、生産技術科8名、食品デザイン科8名、福祉デザイン科7名、計28名が卒業。

令和4年度

4月12日 第4回入学式を挙行し、普通科8名、生産技術科8名、食品デザイン科8名、福祉デザイン科6名、計30名が入学。

3月10日 第2回卒業証書授与式を挙行し、普通科6名、生産技術科5名、食品デザイン科6名、福祉デザイン科4名、計21名が卒業。

令和5年度

4月12日 第5回入学式を挙行し、普通科3名、生産技術科8名、食品デザイン科7名、福祉デザイン科2名、計20名が入学。

7月15日 学校祭にて開校5周年セレモニーを実施。

9月5日 開校5周年記念HKS芸術鑑賞会を実施。

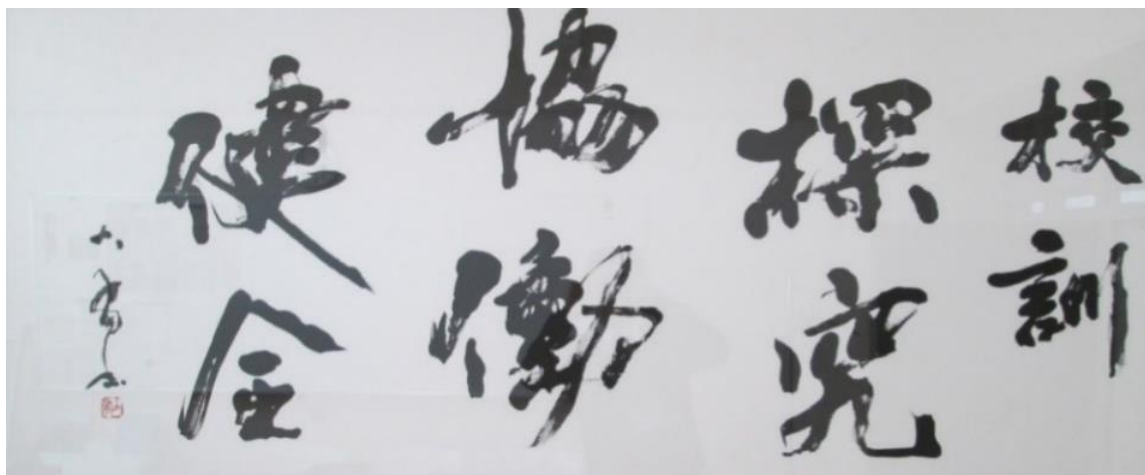
3月8日 第3回卒業証書授与式を挙行し、普通科7名、生産技術科8名、食品デザイン科7名、福祉デザイン科2名、計24名が卒業。

令和6年度

4月10日 第6回入学式を挙行し、普通科8名、生産技術科8名、食品デザイン科8名、福祉デザイン科8名、計32名が入学。

3月7日 第4回卒業証書授与式を挙行し、普通科7名、生産技術科7名、食品デザイン科6名、福祉デザイン科6名、計26名が卒業。

書
鈴
木
大
有



令和7年度 北海道函館高等支援学校 学校経営方針

【高等支援学校の使命】

出口の教育、最後の学校教育
社会への移行、卒業後の働く生活
自立的・主体的な生活、青年期の生活
現実度の高い学校生活を支える教育の場

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

北海道の教育理念
「自立」「共生」

【基礎・基本の徹底】

あまりに多くのことを教えるなかれ。
しかし、教えるべきことは徹底的に教えるべし。(ホワイトヘッド, 1861-1947, 英国) 開校時より引継ぎ

教育理念	自己と社会をつなぎ、共生社会を創造する教育の追求
教育目標	共生社会の一員として、自ら社会に貢献する人間の育成
校訓	■知育【探究】 学び働き生きることを生涯にわたって探究する人間 ■徳育【協働】 多様性を尊重し、互いのよさを認め合い協働する人間 ■体育【健全】 生涯にわたって、健やかな心身と豊かな感性を磨く人間
12の教育信条	●①人権尊重の教育 ②主権者の教育 ◆③個性重視の教育 ◆④多様性を尊重する教育 ★⑤生活で活きる教育 ⑥学的根拠に基づく教育 ★⑦勤労・勤勉を尊ぶ教育 ◆⑧協働する教育 ●⑨感動と共感、感性の教育 ●⑩心身を錬磨する教育 ●⑪地域環境・人材を活用する教育 ●⑫凡事徹底・師弟同行の教育

★知的障害教育の本質（働く生活中心）⑤⑦

◆「個別最適な学び」③④／「協働的な学び」⑧ ●令和7年度重点

【学校信条】 学びの共同体	【生徒信条】 為すことによって学ぶ	【教職員信条】 人権を尊重する教育
【目指す学校像】 生徒たちが通いたくなる学校	【目指す生徒像】 働き続けることができる資質・能力	【目指す教職員像】 主体的に学び続ける教職員集団
1 生徒にとって、安心と成長と希望のある学校	探究 学び働き生きることを生涯にわたって探究する人間	探究 主体的に専門性を磨き、生徒の学び働き生きることを確かなにする教職員
2 保護者にとって、信頼と成長と専門性のある学校	協働 多様性を尊重し、互いのよさを認め合い協働する人間	協働 多様性を尊重し、互いのよさを認め合い、全ての人々と協働する教職員
3 教職員にとって、成長（専門性）と協働と使命のある学校	健全 生涯にわたって、健やかな心身と豊かな感性を磨く人間	健全 公務員としての自覚と使命と情熱をもち、礼節を重んじる教職員
4 地域にとって、信頼と協働と愛着のある学校		

■「職員行動指針」参照

教育方針

- キャリア発達を踏まえた指導支援の充実による主体的であきらめない気持ちと、挑戦し学び続ける態度の育成を図る生涯教育の推進
＜探究＞
- 四科協働のカフェ運営を柱とした教科横断的視点を持った総合的な人材育成を実践する総合的な探究型の作業学習の充実
＜協働＞
- 地域の中や集団の中で個別最適な学びを意識しながら社会で生きて働き続けることができる力の育成を目標とした基本的生活習慣の確立
＜健全＞

経営方針

- 基礎基本を重視した上での発展的創造的な組織運営の充実
- 学校運営協議会を活用した地域との協働（地学協働）を視野に入れた教育活動の工夫・発展・実践の積み上げ
- 特別支援教育に関わる専門性を生かした校内支援体制の実践と他機関との連携を活かしたセンター的機能の発揮
- 高い危機管理意識を持った系統性のとれた組織体制の保持
- 法令順守と教育公務員としての意識向上
- 合意形成を重視した全員参加による意思決定を可能にする組織運営の推進
- ウェルビーイングな学校づくりを通じたインクルーシブな地域社会づくりへの参画

令和7年度 教育・経営重点

- ＜教育課程の改善評価＞
ア 学校の学びの地域とつながり、地域の中で生徒主体の学びにつながる教育課程の改善充実と教育活動の推進
イ 4学科5クラス体制を見据えた教育課程の編成・実践・評価・改善
- ＜キャリア教育の充実＞
ア キャリア教育の総合的なマトリクス図の具体化と進路学習の手引きの作成
イ 学校教育目標の具現化を目指した本校が求めている「働き続ける力」の具体的要素の整理・共有
- ＜生徒指導体制の充実＞
集団生活を目的とした個を大切に育てる発達支援的生徒指導の充実
- ＜四科協働学習（ハコカフェクローバー）と地域貢献活動のコンセプトの再確認＞
ア 各学科における学びの評価の場としてのカフェ運営の意義と作業学習を中心とした学校教育活動全般への評価のフィードバック方法の再確認。
イ 四科協働学習と地域貢献学習の成果を学校教育活動全般に汎化するための手立ての工夫
ウ 生徒数の増加に合わせた四学科協働学習の共通事項の整理、及び各学科の指導内容のシンプル化と遊びの部分の創造
- ＜各学科の教育活動の魅力化＞それぞれの学科の学びの履歴を可視化する。
- ＜特別支援教育の推進＞函館市唯一の知的障害高等支援学校として道南ネットワークや関係機関と意図的に協働し、渡島管内の特別支援教育の充実に積極的に取り組む。
- ＜生徒理解と個別最適な学びの実現＞生徒一人一人の可能性を発見し輝かせることができる教育活動を組織的に計画実践する。
- ＜学校予算の持続可能な適正執行及び施設設備の維持管理の徹底＞
ア 学校予算を適正に且つ安定した状態で執行できる校内体制を構築する。
イ 生徒の学習の場であると共に非常災害時避難場所として常に健全な状態を維持できるよう適切に管理する。
- ＜学校の在り方検討＞令和9年度に向けた本校の在り方の検討として普通科の教育内容及び就業体験等の教育活動の再検討、食品・福祉デザイン科における「デザイン」の意味の可視化、生産技術科の教科横断的学び方の工夫等を検討する。

令和7年度 指導の重点

- 早期段階からの生徒理解の充実＜生徒の行動の背景を捉えた教育相談との繋ぎの強化＞
- 生徒の主体的行動を引き出す創意工夫＜自己選択、自己決定、問題発見解決能力＞
- 卒業後の社会自立、職業自立を意識した見通しを持った教育活動の充実＜見通しを持った指導計画＞
- 深い学びを引き出す生徒とのコミュニケーションやICT機器の積極的活用＜学びに向う気持ちの育成＞
- 各学科の学びの履歴の可視化と生徒へのフィードバック方法の工夫＜各学科の学びのトータルコーディネートと可視化＞
- 「働き続ける力」の明確化と体験的、繰り返しの学習を教科横断的視点により実践する。
＜共通キーワードを持った指導＞

令和7年度 経営の重点

- ミドルリーダーを中心とした丁寧な情報共有
- 教育活動の延長線上に地域が存在を意識した教育活動の工夫と、本校教育活動の積極的な地域発信
- PTA活動の充実と地域ボランティア活動活性化のための心の教育の充実と地域学校協働活動の積極的活用
- 学校運営協議会を活用したHKSサポーターズとの協働による地域学校協働活動の充実
地学協働体制の積極的運用。
- ストーリー性を意識した教育活動の構築
- 教育公務員としての自覚に基づく、法令順守

【令和7年度】 主題 「本校における「働き続ける力」を育てる作業学習（職業学科）及び職業（普通科）の考察」

北海道函館高等支援学校 教職員行動指針

1 人権の尊重

私たちは、全ての人々に敬意をもって接し、互いの人権、人格、価値観を尊重します。

2 専門性の向上

私たちは、主体的に専門性を磨き、生徒の学び働き生きることを確かにします。

3 個性並びに多様性の尊重と協働

私たちは、個性と多様性を尊重し、互いのよさを認め合い、全ての人々と協働します。

4 公務員としての使命

私たちは、公務員としての自覚と使命と情熱をもち、礼節を重んずると共に法令等や社会規範を遵守します。

5 社会貢献

私たちは、持続可能な社会を目指し、常に地域への貢献と連携を図ることにより、開かれた学校づくりを推進します。

1 教育理念

「自己と社会をつなぎ、共生社会を創造する教育の追求」

2 教育目標

「共生社会の一員として、自ら社会に貢献する人間の育成」

3 校訓

「探究」：学び働き生きることを生涯にわたって探究する人間

「協働」：多様性を尊重し、互いのよさを認め合い協働する人間

「健全」：生涯にわたって健やかな心身と豊かな感性を磨く人間

4 校章・スクールカラー



北海道函館五稜郭支援学校と北海道函館稜北高等学校の両校の歴史や精神に敬意を込め、新たな学校として新しい歴史を地域と協働し積み重ねることを中央の五稜郭で表現している。また、五稜郭の中に示す三角形は、「探究」「協働」「健全」の校訓を表現し、翼は、教育目標である「共生社会の一員として、自ら社会貢献する人間」として社会に力強く、かつしなやかに羽ばたく願いを込めている。中央の校名を表す「H」は、人と人が手を取り合い協働する社会を表しており、教育理念である「共生社会の創造」を追求すること

とを象徴している。校章は、北海道函館稜北高等学校イラスト部と北海道高等聾学校専攻科情報デザイン科のコラボレーションにより作成した。（監修：函館デザイン協議会 岡田 暁 氏）

スクールカラーは、セルリアンブルーとする。本校所在地、石川町の高台より展望できる巴港の海の色と深いセルリアンブルーの青空。「知性」と「希望」を表すと言われるブルーと、知性と希望をもって大空へ羽ばたき、未来という大海原へ船出しようとする北海道函館稜北高等学校の理念を継承する。

5 生徒の状況

[学科編成]

学 科	1 年			2 年			3 年			合 計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
普通科	4	4	8	4	4	8	2	1	3	19名
生産技術科	9	7	16	6	2	8	6	2	8	32名
食品デザイン科	6	2	8	7	1	8	4	3	7	23名
福祉デザイン科	4	4	8	7	1	8	2	0	2	18名
計	1 学年計		40	2 学年計		32	3 学年計		20	92名

[出身校別生徒数]

	中学校通常級	中学校特別支援学級			特別支援学校 (知的障害)	特別支援学校 (その他)	合計
		通級による指導	当該障がい 特別支援学級	他障がい 特別支援学級			
1 学年	2	0	12	26	0	0	40名
2 学年	2	0	12	18	0	0	32名
3 学年	0	0	10	10	0	0	20名
計	4	0	34	44	0	0	92名

[出身中学校地域別生徒数]

管内	渡島管内								その他	合計
	市町村	函館市	北斗市	七飯町	鹿部町	福島町	知内町	森町	木古内町	
1 学年	24	9	4	0	0	0	2	1	0	40名
2 学年	21	8	1	1	0	1	0	0	0	32名
3 学年	15	2	1	0	1	0	0	0	1	20名
計	60	19	6	3	1	1	2	1	1	92名

6 卒業生の状況

[卒業後の進路]

		就職		福祉的就労				進学	未定	合計	就労率	
		一般就労	継続A型	就労移行	継続B型	生活介護	自立訓練					
1 期 生	男子	11	1	2	2	0	0	2	1	19	就職率 64% 福祉的就労 35%	
	女子	1	5	0	0	0	0	2	1	9		
	計	12	6	2	2	0	0	4	2	28		
2 期 生	男子	9	1	1	0	0	0	0	1	12	就職率 86% 福祉的就労 10%	
	女子	6	2	0	1	0	0	0	0	9		
	計	15	3	1	1	0	0	0	1	21		
3 期 生	男子	9	0	4	5	0	0	0	0	18	就職率 54% 福祉的就労 46%	
	女子	3	1	1	0	0	0	0	1	6		
	計	12	1	5	5	0	0	0	1	24		
4 期 生	男子	6	3	2	8	1	0	1	0	21	就職率 50% 福祉的就労 46%	
	女子	2	2	0	1	0	0	0	0	5		
	計	8	5	2	9	1	0	1	0	26		

[一般就労の職種内訳]

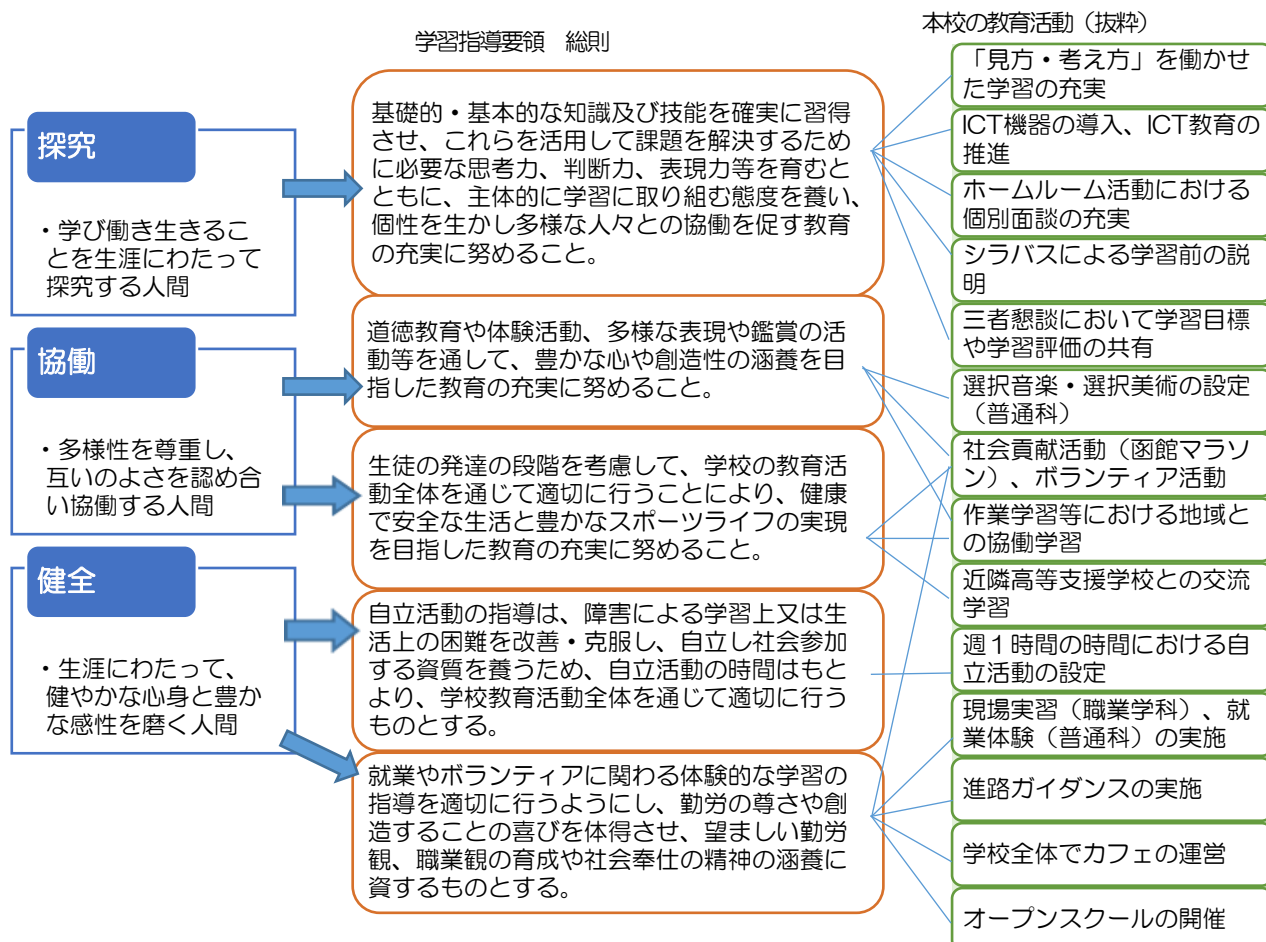
職 種	小 売 業	医 療 福 祉	流 通	製 造	運 輸 業	農 業	宿 僕・飲 食 サービス	清 掃	そ の 他
1 期 生	3	2	1	3	0	0	2	0	1
2 期 生	2	4	0	2	1	0	5	0	1
3 期 生	1	2	0	5	0	1	1	2	0
4 期 生	1	1	0	2	1	1	0	0	2

7 年間予定

	行 事		行 事		行 事		行 事
4 月	着任式・1 学期始業式 入学式 対面式 委員会任命式 授業参観週間 PTA 総会 進路・卒業支援委員会総会 学年懇談会、保護者進路説明会 全校地域清掃	7 月	宿泊研修（2 年） 授業参観週間 1 学期終業式 家庭訪問（1 年） 進路懇談（2,3 年）	10 月	三者懇談（1,2 年） 現場実習、就業体験（1,2 年） はこだて花かいどう 撤去	1 月	3 学期始業式 生徒会役員選挙・任命式 入学者選考検査
5 月	前期生徒総会 保護者懇談 見学旅行（3 年） 現場実習・就業体験（2 年）	8 月	2 学期始業式	11 月	芸術鑑賞会 三者懇談（3 年） 学校祭	2 月	シーニック de ナイト 三者懇談（3 年） 後期生徒総会 3 年生を祝う会
6 月	前実習Ⅰ期（3 年） はこだて花かいどう 植栽 開校記念日 函館マラソン全校ボランティア	9 月	1 日防災学校 前実習Ⅱ期（3 年） オープンスクール	12 月	授業参観週間 保護者進路説明会 進路懇談（1,2 年） スポーツレク 2 学期終業式	3 月	同窓会入会式・総会 卒業証書授与式 三者懇談（1,2 年） 3 学期終業式、離任式 新入生ガイダンス

8 教育課程

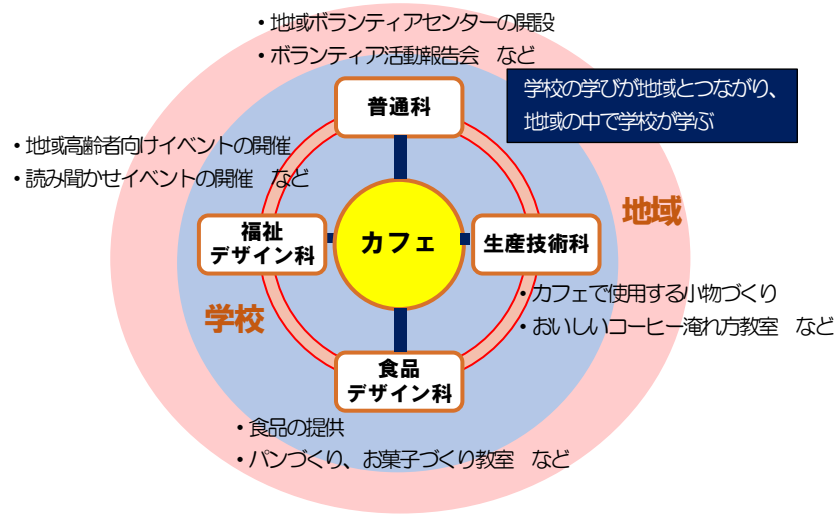
目指す生徒を育成するために、本校は学習指導要領に基づき、主体的・対話的で深い学びの実現を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開し、生徒の豊かな生きる力を育みます。



[地域との協働]

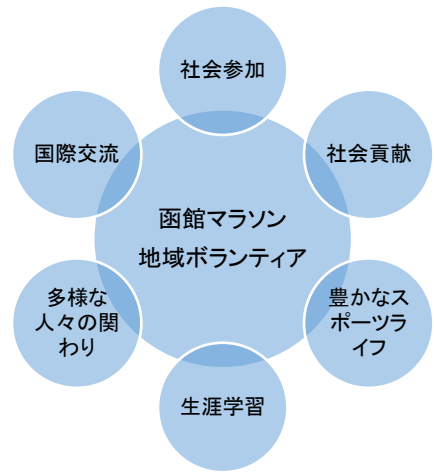
例) カフェの運営

カフェを学校のシンボルとして学校が一体となって取り組み、地域の学校として信頼され地域との協働体制を作ります。



例) 函館マラソンボランティア

生徒が社会の一員であることを自覚し、互いが支え合う社会の仕組みを考えます。



【年間授業時数】（令和7年度）

各教科等	普通科1年	職業学科1年	普通科2年	職業学科2年	普通科3年	職業学科3年
日常生活の指導	180	180	180	180	180	180
作業学習		400		410		400
TKK（体づくり）	90	90	90	90	88	88
国語	105	70	70	70	68	68
社会	70	35	70	35	33	33
数学	70	70	70	70	68	68
理科	35	35	35		33	
音楽	35	35	35	35	33	33
美術	70	70	70	70	68	68
保健体育	70	70	70	70	68	68
選択美術・選択音楽			35		33	
職業	170	50	215	60	225	50
家庭	70	35	35	35	33	33
外国語	35		35		33	
情報	70	35	70	35	68	33
特別の教科 道徳	10	10	10	10	10	10
総合的な探究の時間	105	(35)	115	(35)	126	(35)
特別活動	35	35	35	35	33	33
自立活動	20	20	20	20	20	20
合計	1260		1260		1220	

※職業学科の総合的な探究の時間は、時期を設定し実施する。

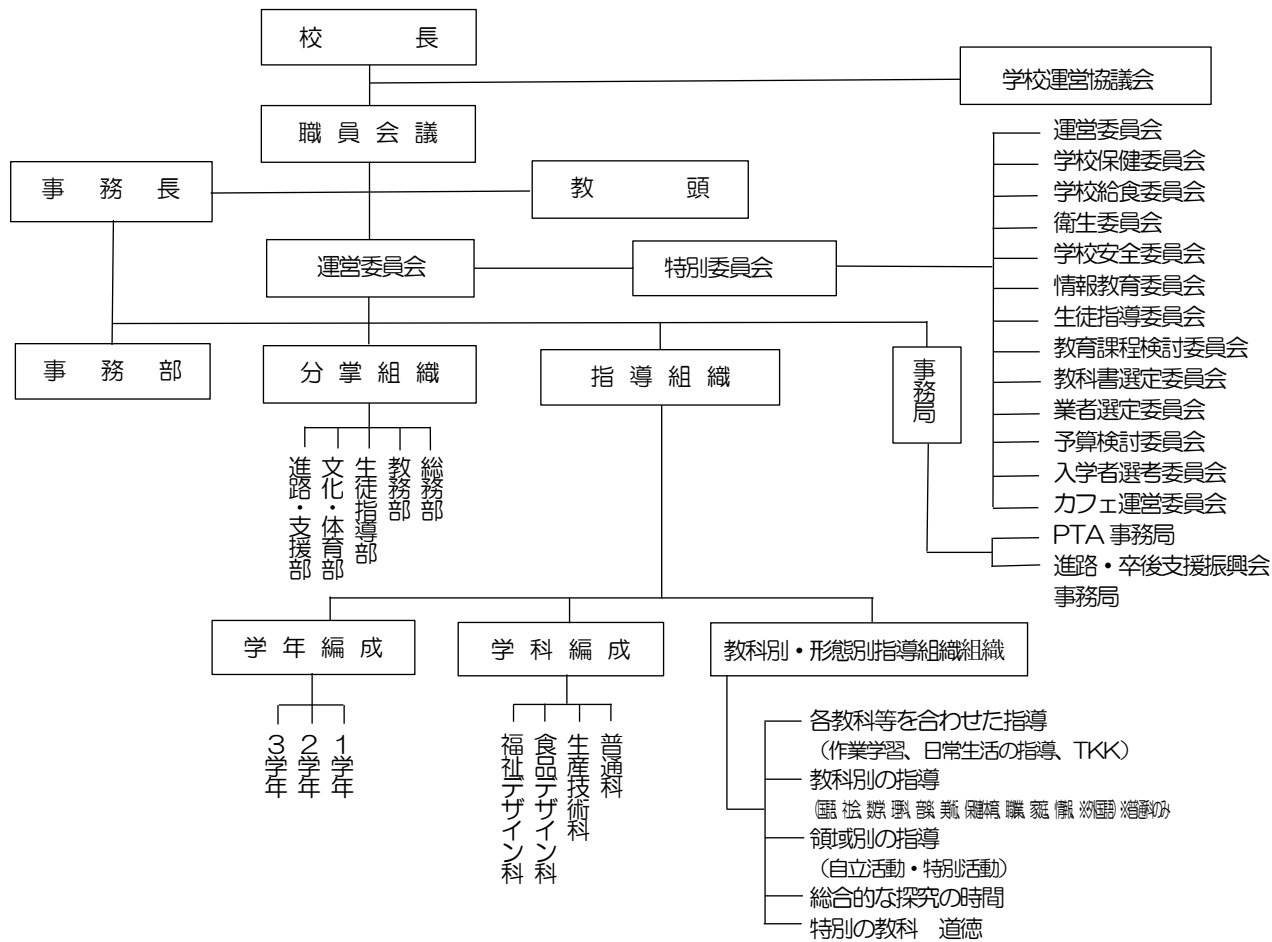
※午前授業は13:30 下校とする。（バス通学の生徒は、時刻表を優先し下校する。）

＜函館高等支援学校 基本週時程＞

	月曜日						火曜日						水曜日						木曜日						金曜日																																		
	1学年			2学年			3学年			1学年			2学年			3学年			1学年			2学年			3学年			1学年			2学年			3学年																									
	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福	普通	生産	食・福																							
8:30 ～8:40	SHR（日常生活の指導）																																																										
8:40 ～8:50	清掃（日常生活の指導）																																																										
1 8:55 ～9:45	LHR		LHR		LHR		TKK		TKK		TKK		総合的な探究の時間		作業学習		社会		作業学習		理科	社会	情報	TKK		TKK		TKK		社会	作業学習		国語	数学	情報	作業学習																							
2 9:50 ～10:40	国語	理科	情報	音楽		情報	数学	情報	理科	社会	総合的な探究の時間										作業学習		社会		総合的な探究の時間	理科	社会	情報	国語	作業学習			理科	作業学習				音楽		職業		作業学習		国語	数学	職業													
3 10:50 ～11:40	保健体育		外国語	社会	社会	美術		国語	情報	作業学習															作業学習		家庭		保健体育				家庭					作業学習						職業				美術		職業		保健体育		職業					
4 11:45 ～12:35			数学	情報	外国語			数学	選択																																															選択	家庭	情報	
12:35 ～12:45	給食の配膳・準備・手洗い（日常生活の指導）																																																										
12:45 ～13:00	給食																																																										
13:00 ～13:10	給食の下膳・片付け・歯磨き（日常生活の指導）																																																										
5 13:25 ～14:15	外国語	家庭	社会	美術			国語	数学	理科	国語	美術	家庭	国語	職業	作業学習		国語	社会	家庭	職業	作業学習		道徳／自立活動	キャリア	家庭		国語	数学	情報	国語	道徳／自立活動	家庭																											
6 14:20 ～15:10	音楽						数学	国語	情報	数学	国語	数学	国語	数学			社会	数学	社会	道徳／自立活動			国語	道徳／自立活動			キャリア	キャリア	TKK／生徒会	TKK／生徒会	TKK／生徒会																												
15:15 ～15:25	SHR（日常生活の指導）																																																										

下校 15:30～
AM授業の下校 13:30～（バス時間を優先とする）

9 学校運営組織図

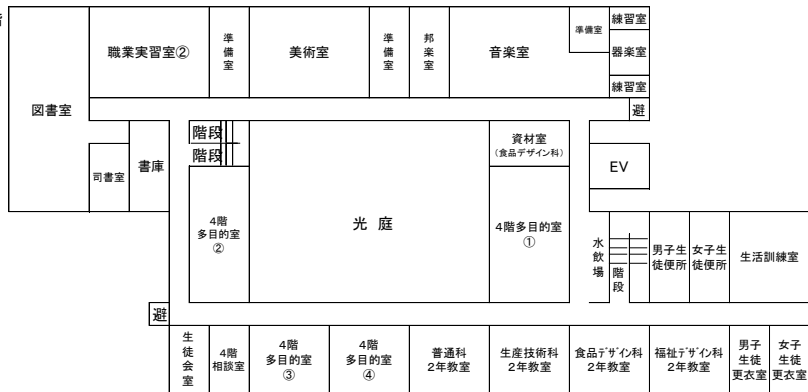


北海道函館高等支援学校 平面図 (R7. 4)

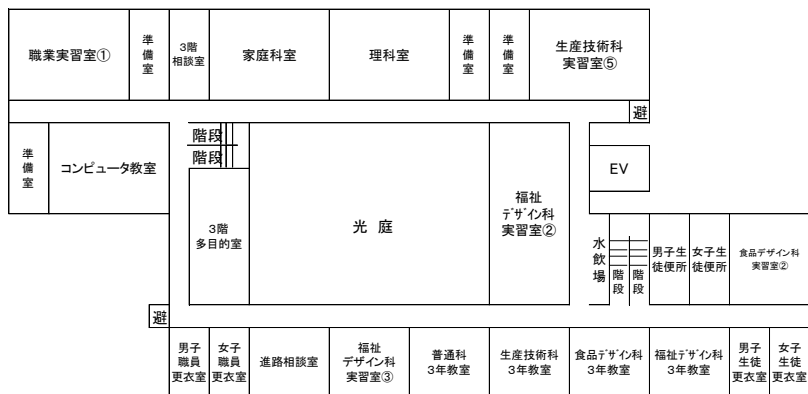
5階



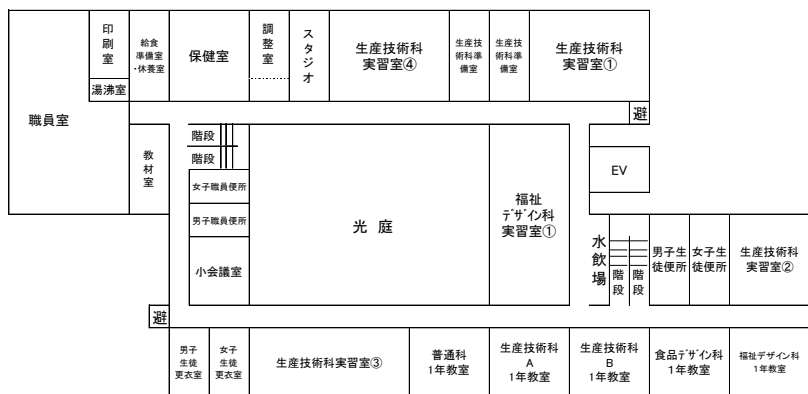
4階



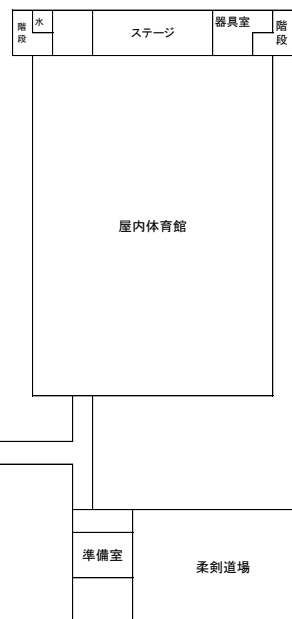
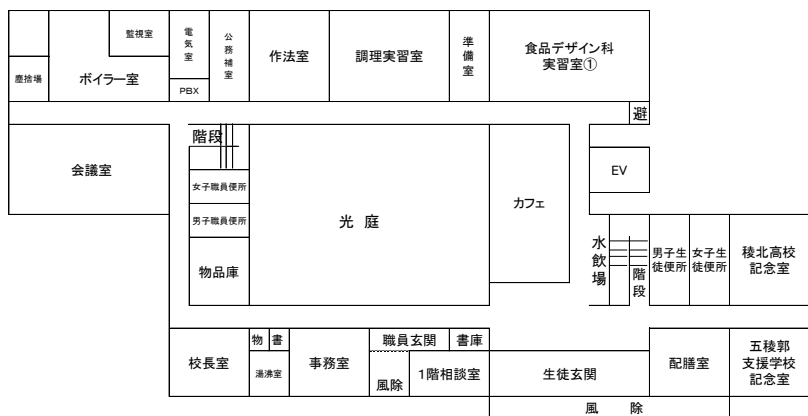
3階

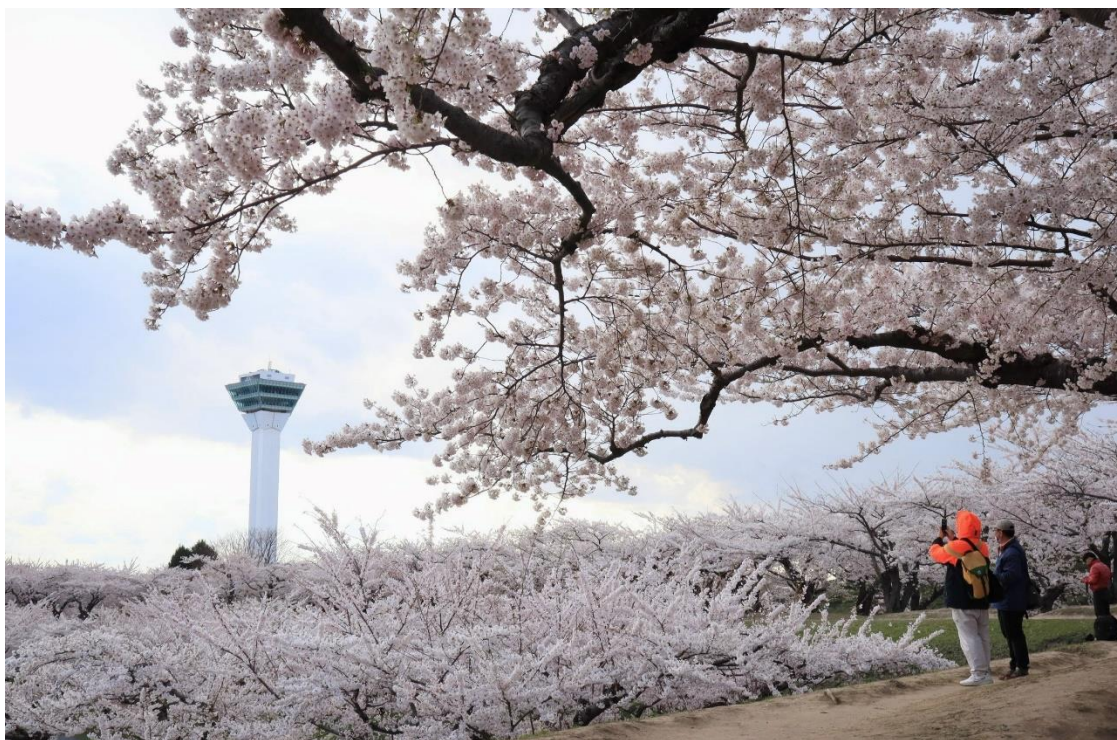


2階



1階





第21 回ふるさと写真コンクール 銅賞「満開の五稜郭桜」
撮影：3期生（卒業生）

教育相談

特別支援学校においては、入学を希望する生徒や保護者、学級担任に対して事前の教育相談を行い、教育内容や学校生活の状況について説明するなど、適切な進路選択のための取組を行っています。

お申し込みは、在籍する学校を通してお申し込みください。

Tel/Fax 0138-34-2110

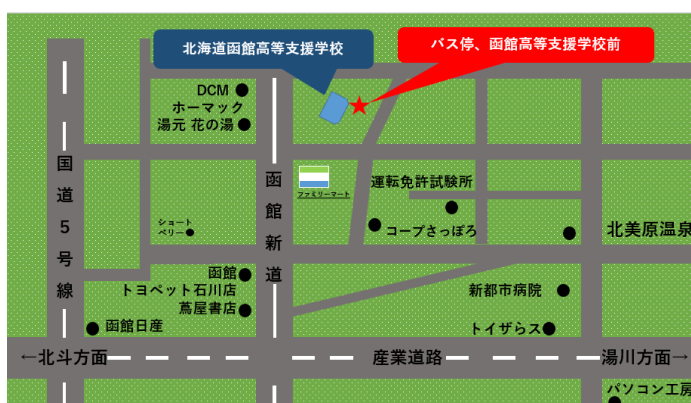
北海道函館高等支援学校

〒041-0802

北海道函館市石川町 181 番地8

Tel/Fax 0138-34-2110

E-mail: hakodatekoushi-zO@hokkaido-c.ed.jp



地図製作：普通科 情報